

## 脳卒中

# 血栓薬で溶かす治療も

ことで生じる。発症すると、体の片側に力が入らなくなった、言葉がしゃべれなくなった、りするほか、最悪の場合、死に至ることもある。

で、死亡率が高い。こぶの大きさや形をみて、破裂を防ぐための治療が検討される。

日本脳卒中学会が認定する専門医の数は、受け入れ態勢の充実ぶりを知る手がかりとなる。

## 顔、腕、言葉 症状チェック

は、他の治療法に切り替える。朝起きた時にマヒなどの症状に気付いた場合、前夜など最後に健康な状態が確認できた時点で、発症時間を遡らなくてはいけない。このため、血管を再開通させる治療ができる患者の割合はそれほど多くはない。ただ、最近MRITなどを駆使し、発症時間が分からない場合でも治療できるかどうか見極める工夫が進んでいる。

近年、患者の救命に貢献しているのが、血栓溶解療法と血栓回収療法だ。前者は「tPA」という薬で点滴を行い、脳血管に詰まった血栓を溶かす。後者は、ももの付け根の血管からカテーテルと呼ばれる細い管を入れ、患部に詰まった血栓を取り除く。

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

城倉健 副病院長



脳卒中は、脳梗塞と脳出血、くも膜下出血の総称。一覧表では、患者数の多い脳梗塞と脳出血の18年の治療実績などを示した。

脳卒中の治療は時間との勝負だ。脳卒中のうち7、8割を占める脳梗塞の場合、血管に血栓が詰まって血流が途絶えると、毎分190万個もの脳細胞が死んでしまうとされている。後遺症を減らし、社会復帰できるようにするためには、一分一秒でも早い治療が必要となる。

死んだ組織に血流が戻ると大出血を起こす危険性があるため、詰まった血管を再開通させる治療は、発症後の経過時間を見極める必要がある。点滴で血栓を溶かす治療は発症から4時間半、カテーテルで血栓を取り除く治療は8時間くらいまで可能で、それ以上たっている場合は、他の治療法に切り替える。

今回は、脳卒中を取り上げた。脳卒中は国内の死因で第3位（2017年）。治療は一刻を争うため、本人や周囲が兆候を早めに把握し、適切な治療を受けることが重要だ。

脳出血は、脳の血管が破れて脳内へ出血する病気。高血圧などで動脈硬化が進み、血管がもろくなることで起こる。くも膜下出血は、脳動脈にできたこぶ（脳動脈瘤）が破裂した状態

脳卒中の治療は時間との勝負だ。脳卒中のうち7、8割を占める脳梗塞の場合、血管に血栓が詰まって血流が途絶えると、毎分190万個もの脳細胞が死んでしまうとされている。後遺症を減らし、社会復帰できるようにするためには、一分一秒でも早い治療が必要となる。

死んだ組織に血流が戻ると大出血を起こす危険性があるため、詰まった血管を再開通させる治療は、発症後の経過時間を見極める必要がある。点滴で血栓を溶かす治療は発症から4時間半、カテーテルで血栓を取り除く治療は8時間くらいまで可能で、それ以上たっている場合は、他の治療法に切り替える。

## 病院の實力「脳卒中」

医療機関別2018年治療実績  
(読売新聞調べ)

医療機関名	脳梗塞			脳出血新規入院患者(人)	脳卒中専門医 19年1月現在 (人)
	新規入院患者 (人)	脳血栓溶解療法 (人)	血栓回収療法 (人)		
横浜新都市脳神経外科	851	58	84	254	4
横浜市立脳卒中・神経脊椎セ	477	44	20	125	7
湘南鎌倉総合	474	31	45	19	6
横須賀共済	448	64	46	168	2
藤沢市民	386	38	75	130	2
脳神経外科東横浜	372	36	35	105	2
東海大	358	44	38	135	16
聖隷横浜	348	5	15	77	1
関東労災	339	10	24	92	4
川崎幸	325	31	50	129	4
国・横浜医療セ	321	22	22	110	5
横須賀市立うわまち	300	16	19	209	2
聖マリアンナ医大	271	14	21	136	17
湘南藤沢徳洲会	250	38	19	152	4
済生会横浜市東部	240	21	15	109	6
新百合ヶ丘総合	227	15	12	96	10
日本医大武蔵小杉	226	12	7	55	4
横浜市立みなと赤十字	224	19	10	91	4
東名厚木	218	24	3	89	2
済生会横浜市南部	217	14	0	48	1
横浜市立市民	203	15	17	94	6
北里大	200	12	50	59	8
川崎市立多摩	195	9	3	36	5
厚木市立	193	4	4	59	1
聖マリアンナ医大横浜市西部	178	12	13	9	7
市立川崎	176	9	3	46	1
大和市立	171	6	0	54	2
昭和大藤が丘	168	6	16	65	3
帝京大溝口	164	9	0	43	4
横浜労災	139	5	23	31	5
横須賀市立市民	133	3	0	65	1
茅ヶ崎市立	106	3	0	49	0
横浜市大病院	79	4	4	20	9
横浜市大市民総合医療セ	3	10	7	23	2

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター

後遺症を少なくするためには、なるべく早くリハビリを始めることも重要だ。当院では入院した時からリハビリ専門医もチームに入り、急性期治療医と共に症状に依りたりハビリを始めています。

全国の調査結果は15日の「安心の設計面」に掲載しました。